

『パパ、気仙沼にバッティングセンター作ってよ。』この言葉は私にとって、『これからがんばって生きていこうよ!』という息子からのメッセージだったのです。

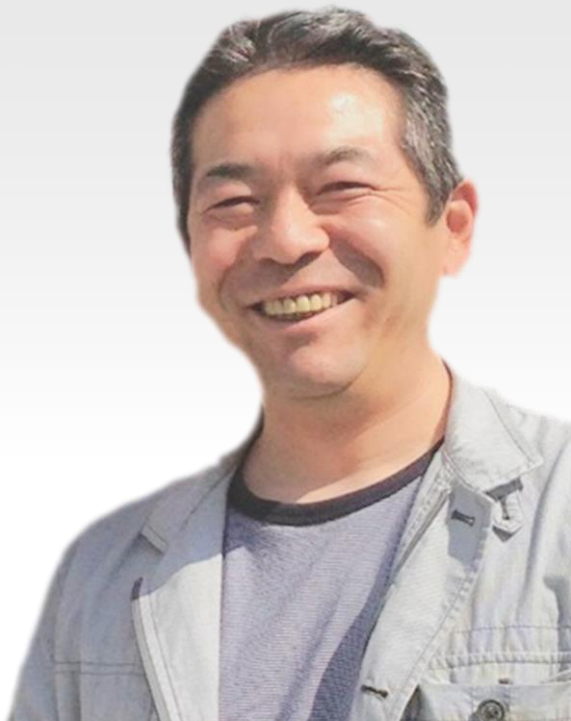
3.11 東日本大震災 特別講演

天国にとどけ! ホームラン!

困難に打ち勝ち、夢を実現させた親子の物語

きよ ひで

講師 **千葉 清英** さん



宮城県気仙沼市で牛乳販売店を営む千葉清英さんは、2011年3月11日、最愛の妻子を含む家族7名もの尊い命を失いました。にぎやかだった家族は突然、清英さんと息子の瑛太君のたった二人だけに。絶望に暮れる中、野球が大好きな瑛太君と交わした「気仙沼にバッティングセンターを作る」という約束を果たすため、千葉さんは新製品の開発や資金集めに奔走しました。様々な困難を乗り越え、そして周囲の温かなサポートを受けながら、2014年3月、ついに希望と復興の象徴である「気仙沼フェニックスバッティングセンター」は誕生したのでした。

今年、東日本大震災の発生から9年目を迎えます。この講演会は「当たり前の日常が当たり前ではないこと」そして、「夢を持ち、希望に向かって生きることの大切さ」を生徒たちに考えて欲しいという想いから企画されたものです。(高校2年生を対象とした講演会として実施します。)

「3.11」を風化させないためにも、千葉さんの貴重なお話を多くの方に聞いて頂ければと考え、一般公開することとなりました。本校関連機関の学生、保護者、教職員のほか、近隣地域の方々のご参加を心よりお待ちしております。

日時) **2020年 2月 26日 (水) 10:50 講演開始**

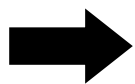
[受付開始(3階建学記念ホール前)・・・10:30 終了予定・・・11:50]

場所) **東海大学付属静岡翔洋高校 建学記念ホール(3階)**

[室内履き(スリッパ)をご持参ください。]

申込) 専用フォームからお申込みください。

[締め切り・・・前日(2月25日まで)]



<http://bit.ly/2ReW3YP>

備考) 公共交通機関でお越しください。

[遠方(中部地域以外)からお越しの方、体が不自由な方のみ、別途対応致します。上記フォームにてお申し出ください。]

“夢中”って、無敵。
東海大学付属静岡翔洋高等学校・中等部

[問い合わせ先]
担当 小曾根(高2学年)
054-334-0726(学校)
ozone@tokai.ac.jp